

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	白山眺望と花の「風景街道」美しき湯けむりのまちづくりプロジェクト		
(2) 実施団体名	加賀商工会議所	(3) 対象地域	石川県加賀市及び小松市
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	
(6) 実施した取組の内容	取組①	「白山眺望と花畑」風景街道事業	
	実施主体	加賀商工会議所	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:「風景街道」登録に向け、道路路肩等で住民参加の花壇づくり、養苗畑の設置及び交通量調査の実施 ・実施時期:路傍花壇・養苗畑の実施 平成20年9月中～下旬(1日) 道路交通量調査 平成20年10月(平休日2回) ・実施場所:南加賀道路沿線 路傍花壇(L=2km)、養苗畑(A=1,000㎡) 道路交通量調査(2断面) ・対象者等:一般市民 200名程度(路傍花壇の実施) ・取組の目的:白山眺望と花を核に人々を魅了する風景づくりによる地域のイメージアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:「風景街道」登録に向け、道路路肩等で住民参加の花壇づくり、養苗畑の設置及び交通量調査の実施 ・実施時期:路傍花壇の実施 平成20年10月19日(日) 養苗畑の実験実施 平成20年9月2日(火) 道路交通量調査 平成20年9月18日(木)、21日(日)(2日間) ・実施場所:南加賀道路沿線 路傍花壇(L=2km)、養苗畑(A=1,000㎡) 道路交通量調査(1交差点、4方向) ・参加者等:330名 ・取組の結果:加賀市及び小松市内の町内会、学校、経済団体、行政、個人等、330名が参加し、スイセン、マンジュシャゲそれぞれ1万個(計2万個)の植込みを実施した。開花時期は、スイセンは平成21年3月頃、マンジュシャゲは平成21年9月頃。
取組②	観光案内人とめぐるエリアツーリズム事業		
実施主体	加賀商工会議所		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:観光コンシェルジュの育成及び風景街道モデルツアーの実施 ・実施時期:観光コンシェルジュの育成 平成20年11月～平成21年1月 風景街道モデルツアーの実施 平成21年2月(4日間) ・実施場所:南加賀道路沿線 ・対象者等:観光コンシェルジュ 一般市民 10名 風景街道モデルツアー 市民及び観光客 20名×4日間=80名 ・取組の目的:海外観光客等を案内できる人材育成及び地域資源をテーマとした観光ツアーの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:観光コンシェルジュの育成及び風景街道モデルツアーの実施 ・実施時期:観光コンシェルジュの育成講座 平成20年12月13日(土)、20日(土)、平成21年1月17日(土)、24日(土)(4日間) 風景街道モデルツアーの実施 平成21年2月14日(土)、21日(土) 3月8日(日)、15日(日)(4日間) ・実施場所:南加賀道路沿線 ・参加者等:観光コンシェルジュ 延べ80名 風景街道モデルツアー 延べ75名 *地元客40名、県外客35名(4日間・予定) ・取組の結果: (観光コンシェルジュ) 加賀市及び小松市内の観光ガイド、まちづくり活動団体や個人等、のべ80名が講座に参加し、地域資源や外国語の基礎会話を習得した。 (風景街道モデルツアー) 1日コース(テーマ:九谷焼歴史探訪)、半日コース(加賀橋立伝建の町並みと漁港)の2つの着地型観光ツアーを企画し、延べ地元客40名、県外客35名、計75名が参加を予定。広報活動としては、加賀百万石ウォーク(石川県観光連盟)への掲載、加賀温泉郷の旅館(60館)への案内、加賀商工会議所会報等により、多面的に展開した。ツアー実施にあたっては、今回参加した観光コンシェルジュ参加者の意見や旅館関係者の意見等を参考にオリジナルのプログラムを開発し、当日ガイドも分担し実施予定。企画から運営を全て協力体制で実践することにより、今後の課題共有できたとともに、相乗効果も期待できる。 	

	<p>取組③ 「風景街道」情報発信事業</p> <p>実施主体 加賀商工会議所</p> <p>当初提案により予定していた計画</p> <p>・実施内容: 南加賀道路沿線の風景街道周遊マップの作成及びホームページ等の情報発信 ・実施時期: 平成20年10月～平成21年1月 ・取組の目的: 南加賀道路沿線等の自然、歴史文化、体験、グルメスポット等の地域の宝物を情報発信する。</p> <p>実際の取組内容及びその結果</p> <p>・実施内容: 南加賀道路沿線の風景街道周遊マップの作成及びホームページ等の情報発信 ・実施時期: 風景街道周遊マップの作成 編集: 平成20年12月～平成21年1月、完成: 2月上旬 ホームページ等の情報発信 平成20年8月～ *逐次更新中 ・取組の結果: 当該元気再生事業の取組状況や周遊マップ情報を加賀商工会議所内のホームページ上に掲載した。講座参加者との協力により、一般的な観光スポット以外の埋もれている地域資源等を発掘・紹介したユニークな地域情報をA1判(折込A4判)のマップ3,000部を作成し、南加賀道路沿線のまちづくり活動地区(7地区)、加賀温泉郷の観光協会(4団体)、旅館(60館)、行政等に配布した。 ・会議所内ホームページの掲載により、異業種分野の会員からの反応や問合せ等もあり、これまでになく取り組みとして評価された。</p>								
(7)実施体制	<p>平成20年度の取組実施における体制・役割分担</p> <p>取組の実施を踏まえた反省点</p> <p>・加賀商工会議所内の経済団体をはじめ、南加賀道路沿線の町内会、学校、市民団体、行政等の幅広い協力が得られたことにより、計画を上回る330名の参加により、盛大に花の植込みを実施することができた。 ・加賀市及び小松市内の観光ボランティアガイド団体や南加賀道路沿線のまちづくり団体への広報PRにより、計画を上回るのべ80名の参加があり、加えて、相互連携の機運が生まれた。 ・観光コンシェルジュ育成講座の参加者の協力により、キメ細やかな地域情報の収集ができ、今までにないユニークな南加賀地域の周遊マップを作成することができた。 ・南加賀道路広域連携活性化協議会委員会(主に経済団体、国・県・市の土木行政の関係者等)だけでなく、観光産業関係者、地域活動団体等の各々の得意とする分野での分担した協力体制により、総合的かつ波及効果の高い事業展開を進めることができ、今後もこの礎のもと、継続的な取り組みができる。</p> <p>・全取組に対し、加賀商工会議所を中心に「南加賀道路広域連携活性化協議会委員会」の協力を得て実施</p>								
(8)取組により得られた成果	<p>○成果1→ 加賀温泉郷の年間観光客数</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td>256.5万人(宿泊・日帰り客数) (184.5万人(宿泊数))</td> <td>当初目標: 約260万人(5年後には300万人に戻す) (11月現在宿泊数171.9万人(12月見込み190万人))</td> </tr> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>・路傍花壇に植込んだスイセンやマンジュシャゲの開花は、それぞれ平成21年3月、9月頃であり、花の名所としての話題にはなっていないが、住民参加による花壇づくりは、当初予定の200人を大幅に上回る330人が参加し、新聞でも取り上げられたことから、今後の開花時期にも期待が持たれる。</p> <p>○成果2→ 観光ボランティア登録人数</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td>H19(現状) 70名(5団体)</td> <td>80名(5年後には100人を目指す)</td> </tr> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <p>・観光ボランティアガイド以外のまちづくり団体である勅使地区の「遺跡と自然を守る会」、分校地区の「分校史跡保存会」、今江地区の「今江・まえがわまちづくり協議会」等の会員12名が参加し、82名(8団体)となり、地域愛の機運づくりの高まりとともに、来訪者を迎える意識づけや、受入体制に向けた取り組みが始まった。</p>	H19	H20(当初予定していた目標)	256.5万人(宿泊・日帰り客数) (184.5万人(宿泊数))	当初目標: 約260万人(5年後には300万人に戻す) (11月現在宿泊数171.9万人(12月見込み190万人))	H19	H20(当初予定していた目標)	H19(現状) 70名(5団体)	80名(5年後には100人を目指す)
H19	H20(当初予定していた目標)								
256.5万人(宿泊・日帰り客数) (184.5万人(宿泊数))	当初目標: 約260万人(5年後には300万人に戻す) (11月現在宿泊数171.9万人(12月見込み190万人))								
H19	H20(当初予定していた目標)								
H19(現状) 70名(5団体)	80名(5年後には100人を目指す)								
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<p>・路傍花壇及び養苗畑の実施の具体的な手法について、概ね確立することができた。今後は、定期的実施されているクリーン活動等とのタイアップにより、身近な運動として波及させ、すそ野の広がりを進める活動体制が整った。</p> <p>・観光コンシェルジュの育成については、実際の現場において、聞き手にプレゼンするための適切なマニュアルづくりやホスピタリー醸成のための人材育成の充実を進める。</p> <p>・モデルツアーについては、宿泊客を対象にチェックイン・アウト前後の時間帯に着目し、旅館フロント機能を生かし、加賀温泉郷内での滞在時間の延伸を軸に企画立案を進め、観光関係者、観光コンシェルジュ、各観光施設等との連携による、より現実的なツアーとなるよう対応を進める。</p> <p>・情報発信については、南加賀道路を「日本風景街道」に登録し、自他共に認める地域資源として確立する。さらに、地域の公民館等を観光交流のインフォメーション拠点『まちの案内所』として位置づけたユニークな発想をもとに、まちづくりと観光交流の一体的な取組により、地域に暮らす住民の「誇りと生きがい」と観光地としての経済活動の活性化に結びつけるためにも、今後もエリアツーリズムを実践していかなければならない。</p>								

	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
(10)平成21年度以降の活動の見込み	<p>1.花づくり養苗畑の造成・組織化(平成21～23年度) ・花づくりをテーマに住民参加によるコミュニティビジネスモデルの構築</p>	<p>■花づくり養苗畑の造成・組織化(平成21～23年度) ・実施主体:加賀商工会議所等 ・耕作放棄農地を借上げ等から農業関係者等との連携を模索し、スイセンやマンジュシャゲの球根を植込み・培養を図り、新たな地域産品として育成する。 A=2,000㎡、植込み球根N=4万個 [活動を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望](想定金額500万円)</p>
	<p>2.路傍花壇の整備延伸(平成21～23年度) ・南加賀道路供用区間L=17kmの約30%(5km)に拡大</p>	<p>■路傍花壇の整備延伸(平成21～23年度) ・実施主体:加賀商工会議所等 ・南加賀道路沿線の路肩に住民参加等により、スイセンやマンジュシャゲの球根を植込み、花街道を拡大する。 ・また、定期的にも実施している地域のクリーン活動等とのタイアップ化により、身近な地域活動としての定着化を図る。 ・L=片側500m×2=1km、植込み球根N=4,000個 [活動を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望](想定金額500万円)</p>
	<p>3.エリア・ツーリズムの商品化(H21～23年度) ・旅行エージェントとの共同によるツアー商品を企画、着地型の旅行ツアーを販売</p>	<p>■エリア・ツーリズムの商品化(H21～23年度) ・地域経済全体に波及する体験交流型観光の実現に向けて、魅力ある観光ツアーの形成のために、地元の市民団体や観光協会、旅行エージェント等の幅広い関係者と連携し、市場調査や実験ツアー等を展開する。 ・また、現地案内における適切なプレゼンツールの開発やマニュアルを整備するとともに、ホスピタリー向上に向けた人材育成を図る。 [活動を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望](想定金額400万円)</p>
	<p>4.元気再生事業の情報発信の充実(H21～23年度) ・元気再生事業の取り組み発信と地域情報との連携</p>	<p>■元気再生事業の情報発信の充実(H21～23年度) ・実施主体:加賀商工会議所 ・元気再生事業の取り組み活動の情報発信や観光ツアーの募集PRを通じた加賀温泉郷観光産業の発信、花畑づくり活動を通じた地域農産物の発信等、地域産業を連関させた農工商連携型の発信を展開する。 ・地域活動団体、経済団体・企業、学校団体等への説明や配布等を行う。特に、新たな観光インフォメーション拠点『まちの案内所』として位置づけた地域の公民館等を核に連携し、リアルでハートフルな地域住民と来訪者の交流を促す情報発信を展開する。 [活動を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望](想定金額200万円)</p>
	<p>5.風景街道統一サインの整備(H21～23年度) ・デザイン統一や外国語標記した道路標識、観光サイン等を整備</p>	<p>■風景街道統一サインの整備(H21～23年度) ・国道8号拡幅で不要となる街路樹(幹周1.2m程度)をエコサイン及びランドマークとして、南加賀道路沿線の交差点付近や白山眺望地点等に配置し、沿道の風景名所として演出する。 [活動を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望](想定金額200万円)</p>
	<p>6.日本風景街道の登録(H21年度以降) ・白山眺望と花を核に人々を魅了する風景づくりによる地域のイメージアップ</p>	<p>■日本風景街道の登録(H21年度) ・実施主体:加賀商工会議所・小松商工会議所等 ・南加賀道路を「日本風景街道」に登録し、平成20年度の観光コンシェルジュ育成に参加した観光ボランティア、まちづくり活動団体等が参画した組織(仮称)南加賀風景街道実行委員会を設立し、日本風景街道の主旨に合致した活動及び情報発信を展開する。 [活動を希望する制度:国土交通省所管「日本風景街道」]</p>

白山眺望と花の「風景街道」美しき湯けむりのまちづくりプロジェクト(石川県加賀市・小松市地域)

ー加賀商工会議所ー

◆主な実施取組の内容◆

取組①: 白山眺望と花畑「風景街道」事業

- 路傍花壇の実施 平成20年10月19日(日)
 - ・道路路肩L=2km、参加人数=330人
 - ・マンジュシャゲ・スイセン計=1万個植込み
 - ・開花時期 H21.春と秋
- 養苗畑の実験実施 平成20年9月2日(火)
 - ・暫定道路敷A=1,000㎡(2箇所計)
 - ・マンジュシャゲ・スイセン計=1万個植込み
- 道路交通量調査(12時間)
 - ・平成20年9月18日(木)、21日(日)
 - *基礎調査のみ、開花時に再調査



参加者募集チラシ



植込みイベントの様子



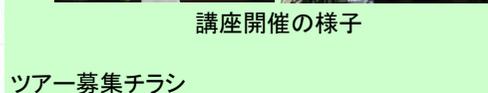
参加した中学生たち

取組②: 観光案内人とめぐるエリアツーリズム事業

- 観光コンシェルジュの育成講座及びマップ編集
 - 第1回(12/13) 南加賀道路沿線のバス見学
 - 第2回(12/20) ワークショップによる周遊マップ編集作業
 - 第3回(1/17) 欧米、東アジアの風俗について
 - 第4回(1/24) 外国語基礎会話、指差しマップの習得等
 - 参加人数=のべ80名
- 風景街道モデルツアーの実施
 - コース1(2/14、21) 10:30~15:30(ワンデイ型)
 - 九谷焼歴史探訪(作家工房~美術館~料亭等)
 - 参加人数=延べ40名(予定)
 - コース2(3/8、15) 10:30~12:30(ハーフデイ型)
 - 橋立漁港と町並み探訪(町並み散策~漁協見学等)
 - 参加人数=延べ35名(予定)



講座開催の様子



ツアー募集チラシ

取組③: 「風景街道」情報発信事業

- 風景街道周遊マップの作成配布
 - 規格 A1判(折込A4判)、3,000部制作配布
 - 内容 白山眺望をテーマに7地区の歴史文化見処、食事処、ガイド顔写真付等
 - 配布 新しい観光案内拠点(7地区の公民館)、観光協会、行政、学校施設等
 - *観光コンシェルジュ育成講座参加者による取材及び編集作業によりユニークな仕上がり
- HP制作発信
 - 掲載 加賀商工会議所HP内にアップ
 - 内容 元気再生事業の活動紹介、風景街道周遊マップ情報等を掲載



ホームページ



ワークショップ
パンフ編集作業



制作したパンフレット

◆取組成果◆

- 指標1: 加賀温泉郷の年間観光客数 [現状H19]256.5万人(宿泊184.5万人) → [目標H20]260万人 → [実績値]190万人(宿泊)
- 指標2: 観光ボランティア登録人数 [現状H19]70名/5団体 → [目標H20]80名 → [実績値]82名/8団体

◆今後の展開◆

- 花づくり養苗畑の造成・組織化(H21-23)
 - ・耕作放棄農地の借上げ等による植込み球根の育成、農業関係者との連携・新たな地場産品づくり
- 路傍花壇の整備延伸(H21-23)
 - ・花街道のイメージづくり、身近な地域クリーン活動との連携による継続化・定着化
- 日本風景街道への登録(H21以降)
 - ・風景街道設立実行委員会の組織化、活動展開・情報発信

- エリアツーリズムの商品化(H21-23)
 - ・地域経済に波及する体験交流型観光の実践
 - ・北陸新幹線開通(H26)による首都圏からの誘客の地盤づくり
 - ・市民団体と観光事業者がスクラムし、企画立案する着地型観光ツアーの提供
 - ・現場案内プレゼンツール、マニュアルの整備、ホスピタリティの向上による地元観光ガイドの人材育成

- 風景街道統一サインの整備(H21-23)
 - ・白山眺望をテーマに眺望ポイントサイン、エコサインの導入(樹木のランドマーク等)
- 元気再生の情報発信の充実(H21-23)
 - ・新たな観光インフォメーション拠点=「まちの案内所(公民館等)」によるリアルでハートフルな情報発信
 - ・ホームページ、周遊マップ等の利活用による地域、農業、経済等『農商工連携型』のネットワーク化